ときわまつ

一年の終わりに

校長　加藤　真寿美

校庭の木々の葉も紅葉から落ち葉に変わり始め、歴もいつの間にか「師も走り回るほどの忙しい月」十二月・師走となりました。カレンダーも残すところ一枚となり、令和五年を迎えたときに決意したことを改めて思い起こす、そんな気持ちになる今日この頃となりました。

さて、次に紹介するのは、有名な戦国武将「武田信玄」の名言と言われている言葉の一つです。

「一生懸命だと知恵が出る
中途半端だと愚痴が出る
いい加減だと言い訳が出る」

一生懸命に行動する人は、どんな時にもあきらめることなく最善を尽くします。物事を解決するために様々なことにアンテナを高く張り解決の糸口を見付けるための努力をします。そして、解決のための知恵を生み出します。しかし、中途半端やいい加減に行動する人は、自分を棚上げにし、愚痴や言い訳ばかりが出てきてしまい、何も解決のための糸口が見つからないばかりでなく、責任転嫁してしまうのです。もし、愚痴や言い訳が出てきてしまった時は、一生懸命でなくなった時であると認識し、気を引き締めなくてはなりません。

一年の終わりにあたり、自戒の念を込め、自分自身を改めて振り返る機会としています。

○学校評価～成長する学校へ～

保護者や地域の皆様に、学校評価アンケートに御協力をいただく時期となりました。学校評価アンケートは、本年度の本校の教育活動を評価していただき、次年度により良い教育課程を編成するための参考にするものです。保護者・地域・教職員の三者で行っています。学校評価を行うことは、次のような意味で重要だと考えています。

一つは、今の学校の姿を客観的に知ることです。保護者や地域の皆様に評価していただくことは、学校の現状を知ることになります。本校の教育活動が子供たちの成長や成果にどのように結び付いているのかを具体的に知ることになります。良い点は引き続き継続し、課題については見直し・改善を図っていく必要があります。結果を基に教職員が話し合い、成果と課題をしっかりと共有してまいります。

もう一つは、学校と保護者・地域と相互理解を図ることです。保護者や地域の皆様からは、様々な感想や意見、要望があります。それらの意見にしっかりと耳を傾けることが、学校が成長するために大切なことであると考えます。お褒めの言葉やねぎらいの言葉からは、勇気や元気をいただいています。御指摘や御意見・御要望については、真摯に受け止め、改善に結び付くよう努めてまいります。学校評価アンケートを活用し、常磐松小学校が「成長する学校」になるよう、全力を尽くしてまいります。

※学校評価の保護者アンケートはこちらのURLからも回答できます。
https://forms.office.com/r/rpT8NffFk9

○未来の学校
～来年度の教育課程について～

渋谷区では、グローバル社会で活躍する自立した学習者を育むための「未来の学校」創りを推進しています。その一つとして、探究的な学びをより充実させていきます。先生が教える授業から、子供自身が課題を見付け、課題の解決に向けて学びを創る授業を増やしていきます。探究を通して、情報収集や整理・分析、まとめ・表現する力を高めていきます。具体的には、

・一日の流れを、午前は教科を中心とした授業、午後は探究を中心にした授業にします。
・総合的な学習の時間を中心とした探究的な学び「シブヤ未来科」を充実させます。
・文部科学省「授業時数特例校制度」を申請し、各教科の授業時数の一割を総合的な学習の時間に上乗せします。

詳細については、二月の全体保護者会で説明いたします。渋谷区教育委員会の資料を添付します。御確認ください。

最後になりましたが、今年一年も保護者の皆様、地域の皆様には、大変お世話になりました。四月から絶え間なくお力添えや励ましをいただき、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。どうぞよいお年をお迎えください。

学芸会

十一月十七日（金）・十八日（土）

十一月十七日・十八日の二日間で学芸会が行われました。この日に向けて、どの学年も学級や個人のめあてを立て、楽しみながらも集中して取り組みました。練習では、演技やダンスのアイディアを出したり、互いにアドバイスし合ったりする姿もあり、回を重ねる毎に少しずつクラスの団結が見られるようになりました。どの学年も、本番は今までで一番の出来映えでした。また、五・六年生は係活動でも学芸会を盛り上げました。

御参観くださった地域・保護者の皆様からは温かい励ましのお言葉をいただきました。ありがとうございました。

4年生「オズの魔法使い」

1年生「おたまじゃくしの101ちゃん」

5年生「子供帝国の逆襲」

2年生「32．5ページ」

6年生「走れメロス」

3年生「タヌキの恩返し」

たてわり班清掃の様子

今年度も、後期からたてわり班での清掃活動を始めました。十の班に分かれ、一年生から六年生までが協力して各教室や廊下、階段、特別教室などを掃除します。

始めたばかりの頃は、開始時刻に全員が集まらない、時間通りに終わらないなどの課題がありましたが、だんだんと慣れてきて、最近では、六年生のリーダーシップのもと、四・五年生も下級生に優しく声をかけながら取り組んでいる様子が見られます。上級生が自分の役割に一生懸命取り組む姿を見せることで、それが下級生にも広がっていきます。

これからも子供たちの頑張りを認め、励ましながら指導を続けていきます。

■十二月の生活目標■

学校をきれいにしよう

■すこやか目標■

冬を健康に過ごそう

早いもので師走になりました。年末に向けて、大掃除を計画的に始めている御家庭もあるのではないでしょうか。

本校の教育目標の一つに「働く子」があります。

学校でも、教室など学習で使っている場所をきれいにして、新しい一年を迎える準備を進めていきます。子供たちにも、自分の机やロッカー、靴箱など個人の責任できれいにしていく場所があります。冬休みまでに、少しずつ片付けることができるよう、計画的に指導し、荷物の持ち帰りを順次行っていきます。御家庭での学習道具の確認・補充をお願いいたします。

また御家庭での大掃除などのときには、「働くこと」に喜びをもたせる良い機会として、ぜひ子供たちにもできる掃除やお手伝いなどを行わせてください。

すこやか目標は、風邪のはやる季節を健康に過ごすことができるよう設定しました。子供たちが自分たちで暑さ寒さを感じ取り、場に合わせて暑さ寒さを予想しながら衣服の調節を心がけられるように学校では指導しています。例年、休み時間後の上着等の防寒着の落し物が多くなります。お手数ですが、記名に御協力をお願いいたします。

特別支援教室「ゆずりは」

◆ソーシャルスキル◆

集団生活の中で、豊かで円滑な人間関係を築いていくためのスキルは、生涯にわたって必要なものです。今回は『ソーシャルスキルトレーニング』について紹介します。

こんな時どうする？

ゆずりは教室では、学級での様子を担任から、御家庭での様子を保護者の方より連絡帳を通して情報をいただいています。その情報をもとに、児童と質問形式で対話をしています。すぐに実生活の中で活かしていけるよう、児童に合った手だてを試行錯誤しながら考えています。「こんな時どうする？」は、クラスや家庭での困り感を教材として取り上げています。実際の出来事に感情的にならずに客観的に考え、相手の視点にたって気持ちを想像する時間を設けています。様々な場面における対処方法を一緒に考え育てています。児童が自分以外の人の考えや、物事の捉え方の違いに気付くことは大切なことです。ソーシャルスキルを学ぶことで、しなやかな思考や様々な視点から物事を捉えられるようになります。そして、相手に対する優しさや思いやりの気持ち、態度を身に付けることができるようになっていきます。

直通電話〇三-三四八六-五一〇八

ゆずりは教室　担任　門田香織里